

市立八幡浜総合病院 災害医療計画

(令和2年12月21日版)

本資料のデジタルファイルを以下からダウンロードできます。

<http://plaza.umin.ac.jp/~GHDNet/ec14.pdf>

(ファイル名の14は数字、全文・フルサイズの資料です)

2020年度の修正部分・抜粋

<http://plaza.umin.ac.jp/~GHDNet/ec14p.pdf>

(ファイル名の14は数字、抜粋資料です)



令和元年度版 災害医療計画

令和3年1月28日(木)、運営委員会承認をめぐっています。

以下、♣は令和3年12月の修正・追加箇所

第1部 災害医療計画	7
第1章 総則	7
(目的)(適用範囲)	7
第2章 平常時の災害対策体制	7
(災害管理対策)(災害に対する防護のための組織)	7
(各責任者の業務)	7
(震災予防措置)	8
(定期的に自主点検・検査を実施するための組織)	8
(建物等の定期調査)(点検検査結果の記録及び報告)	8
(不備欠陥等の報告)(施設に対する遵守事項)	9
(避難経路図)	9
第3章 災害発生時の対策	12
(被災時の組織)(災害対策本部)(本部の任務)	12
(暫定災害対策本部)	12
(情報班の業務)(本部付の業務)	13
第4章 被災後の対策	13
(被災地域内の病院による初期医療対策)	13
(医療班の編成)	13
(暫定病棟の開設)(物品搬送班の活動)	13
(交通整理班の活動)	13
資料1. 救急・災害対策委員会規約	15
♣別表1 災害対策委員一覧表	17
別表2 災害対策本部構成表	18
♣別表3 緊急事態における連絡体制と参集規定等	24
♣(1) 動員基準と参集規定	24
(2) 参集猶予と参集免除について	25
イ) 参集猶予	25
ロ) 参集免除	25
表x-1. 災害時の勤務に関する届け	26
表x-2. 災害時の勤務に関する判定(承認)	26
表x-3. 災害時の勤務に関する判定(却下)	26
表x-4. 災害時の勤務に関する届け(撤回用)	27
(3) 緊急連絡の方法	28
イ) 電子メールによる一斉連絡	28
ロ) 電話による緊急連絡網	28
ハ) LINE(八幡浜hp 防災)による緊急連絡	28
ニ) 災害時の院内放送に関する注意点	29
ホ) 緊急連絡票(院内用)	29
ヘ) 医療機関 被害状況等報告書	29
EMISを使用できない場合の災害時情報伝達	30
別表3-(4) 災害時病棟チェックリスト	30
別表3-(5) 災害時チェックリスト(一般部署用)	32
別表3-(6)-イ) 緊急連絡票(院内用)	33
別表3-(6)-ロ) 医療機関 被害状況等報告書(直後)	34
別表3-(6)-ハ) 医療機関 被害状況等報告書(詳細)	35
別表4 災害予防のための組織編成表	36
別表5 自主検査、点検を実施するための組織編成表	37
別表6 自主検査チェック表(日常)	38
別表7 自主検査チェック表(定期)	39
別表8 災害下における病院状況を表すカラーコード	40

第2部 アクションカード	41
第1章 災害時アクションカードと災害時医療編成について	41
(1)アクションカード	41
(2)時間内災害時における災害時医療の編成(職種別)	41
A. 医師	42
B. 看護師	42
C. 医師・看護師以外の医療職と事務職	43
第2章 勤務時間内の災害における責任者の業務	45
院長、事務部門責任者、副院長、診療部長、救急・災害対策	45
看護部長、外来部門責任看護師、病棟部門責任看護師	50
手術部門責任看護師、透析部門責任看護師	54
トリアージセンター責任者、設営、フローチャート	56
赤ゾーン責任者、設営、フローチャート	59
黄ゾーン責任者、設営、フローチャート、配置図	62
緑ゾーン責任者、設営、フローチャート	65
黒ゾーン責任者、設営、フローチャート	68
参考)トリアージタッグと災害用カルテ、災害用カルテ	71
紫ゾーン責任者、検査部門責任者	74
放射線部門責任者、交通整理(本部設営)班責任者	76
資材調達班責任者、搬送班責任者、院内清掃班責任者	78
情報班責任者、報道担当責任者、ボランティア担当責任者	81
第3章 勤務時間内・時間外の災害における一般職員の業務	84
医師(勤務時間内)、日当直医師	84
病棟看護市長(時間内)、外来看護師など(時間内)	86
日当直看護師長、初期対応フローチャート	88
医師看護師以外の医療職(時間内)	92
事務職員(時間内)、宿日直者	93
◆各職種共通(勤務時間外)	95
第4章 病棟火災時の対応	96
看護師:①(第一発見者)、同②(避難・誘導)	96
看護責任者:①(初動)、②自病棟が火元、③他病棟が火元	98

第3部 大津波対応編	101
第1章「第3部(大津波・停電編)策定の背景と狙い	101
第2章 災害対応と津波前準備	102
(1)「災害対策本部」の設置と「災害モード」の発令	103
(2)津波に特化した監視と情報収集の体制を加える	103
(3)院外からの患者受け入れに関する方針	103
(4)医療救護班の派遣	103
(5)災害時治療ゾーン等の移転	104
(6)停電への対策	105
(7)地階・1階・2階各部署における津波前準備の原則	105
(8)3階以上の各部署における津波・停電前準備の原則	105
第3章 各部署における津波前準備(各論)	106
(1)地階、1・2階部分の各部署	106
A. 地階・1階、B. 2階	106
(2)3階以上の各部署	108
(3)事務局	108
第4章 津波・停電前準備における、重要な機器類等(準備中)	110
(1)発電機	110
(2)無停電装置等	110
(3)医療機器	110
(4)酸素供給に関する情報	110
第5章 津波・停電前期における勤務について	111
(1)地震後、津波前期における職員の早退について	111
(2)病院外で被災した場合の参集免除について	111
第6章 南海トラフ地震に関する臨時情報が出た場合の対応	112
(1)背景	112
(2)南海トラフ地震に関する臨時情報が出た場合の対応	113

第4部 救護班・DMATの派遣および受け入れ手順	114
はじめに	114
第1章 医療救護班・DMATの派遣手順	114
1. DMAT とは	114
資料1 DMAT に関する用語の定義等	114
2. 愛媛DMATの活動内容と流れ(愛媛DMAT運用計画より)	116
資料2 広域災害・救急医療情報システム(EMIS)	119
3. DMAT の派遣の流れ・出勤と活動内容	120
第2章 医療救護班の活動	126
第3章 医療救護班・DMATの受け入れ手順	128
第4章 災害支援ナースについて	129
A 災害支援ナースの派遣手順	129
第5章 DMATなどの資機材管理	136
DMAT標準装備(個人装備)1、2	136
DMAT標準資機材(ロジスティック関連機材)	137
DMAT標準医療機器・関連機材	139
DMAT資機材管理表(赤バック)	140
DMAT資機材管理表(黄バック)	142
DMAT資機材管理表(緑バック)	144
DMAT標準薬剤リスト	145
DMAT用備品整理簿	146
DMAT携行医薬品一覧表	147
DMAT用備品整理簿(資料3)	148

第5部 原子力災害医療	150
第1章 原子力災害医療の目的	150
第2章 原子力災害医療における当院の役割	150
第3章 被ばく傷病者の受入れ	150
A) 被ばく傷病者受入れ手順	150
(1) 傷病者受入れ要請の連絡	150
(参考) 発電所で用いる情報用紙	151
(2) 発電所への要請事項	152
(3) 連絡体制	153
(4) 除染室での受入れ準備	153
(図) 除染の服装	154
(表) 緊急被ばく医療 チーム役割表	155
B) 患者への対応・処置(フローチャート)	156
註. 専門施設等への移送を考慮する場合	157
C) 処置終了後の対応	157
D) 職種別の対応	159
(1) 医師	159
(2) 看護師	160
(3) 診療放射線技師	161
(フローチャート) 診療放射線技師	163
(4) 事務職員	164
♣ 資料1A 院内連絡網(勤務時間内)	165
資料1B 院内連絡網(勤務時間外)	166
資料2 生物学的試料採取の手引	167
資料3 身体除染の手引き	168
第4章 原子力災害拠点病院と原子力災害派遣医療チーム	170
A) 原子力災害拠点病院	170
原子力災害拠点病院等の施設要件(抜粋)	170
B) 原子力災害医療派遣チームについて	174
第5章 市立八幡浜総合病院原子力災害時避難計画	175
A) 総則	175
B) 原子力災害事前対策	175
C) 原子力災害応急対策	178

D)屋内退避及び避難	180
参考1)屋内退避時の注意点—院内配布資料の文例	181
参考2)放射性物質による汚染状況の調査	182
表. 空間線量率記録票1(院内及び病院周辺)	184
表. 空間線量率記録票2(モニタリングポスト用)	185
表 役割分担表	187
参考3)避難計画の作成	188
参考4)患者リストなど(表1-1~3-2)	189
参考5)避難患者などへの対応・処置	189
参考6)受入れ先医療機関について	189
表 原子力災害時の勤務に関する職員のグループ分け	190
参考7)勤務中の被ばく監視体制	190
参考8)被ばく線量限度と人体への影響	191
参考9)避難終了後の職員と避難先事務局の対応	191
参考10)入院患者等および職員の安定ヨウ素剤服用	191
参考11)消防職員のヨウ素剤服用に関する支援	192
表 安定ヨウ素剤服用に関する調査票(患者用)	193
表 同上(職員用)	194
表1-1. 患者リスト	195
表1-2. 患者リスト(搬送担当者用)	196
表2. 要転送患者等の人数	197
表3-1. 入院患者様 連絡先等確認用紙	198
表3-2. 外来患者 被ばく避難に関する意志等確認用紙	199
表4. 累積線量記録(個人用)	200
表5. 累積線量記録(各部署用)	201
♣表6-1. 放射線災害時の勤務に関する届け	202
♣表6-2. 放射線災害時の勤務に関する届け(撤回用)	202
緊急ひばく医療アクションカード(目次)	203
管理部門全体、病院統括者(院長)	204
病院統括補佐(全般)、統括医師(チームリーダー)	206
処置担当医師、看護師、	209
診療放射線技師(管理区域内)、同(管理区域外)	211
事務職員	213
患者に関する医学的情報を知る	214
除染時の服装、脱衣	215
処置室の資機材・医薬品の準備	217
緊急被ばく医療 資機材管理表	218
参考資料 関係箇所連絡先	221

第6部 地域の災害弱者への対応	227
第1章 災害弱者(災害時要支援者)とは	227
第2章 各論	228
(1)透析患者への対応	228
(2)在宅酸素療法患者、在宅人工呼吸器患者への対応	229
(3)糖尿病患者への対応	229

第7部 災害ボランティア・外部支援者について	231
第1章 当院の災害対応における災害ボランティアの位置付け	231
第2章 災害ボランティアの種類	231

第8部 南海トラフ巨大地震を念頭に置いた事業継続計画	232
はじめに	232
1. 基本的な考え方	234
(1) BCPの方針	234
(2) 策定体制	234
(3) 現況の状況	235
(4) 被害の想定	236
(5) 優先業務の抽出	239
2. BCP行動計画	240
1) 情報—診療提供能力の確認	240
2) 情報—院内体制整備の指示	241
3) 診療—トリアージセンター・治療ゾーン等の決定	242
4) 診療—トリアージの実施	244
5) 診療—治療ゾーンでの診療	246
6) 搬送—重症患者の搬送	249
7) 医療器材・医薬品等の調達	250
8) 医薬品の調達	253
9) 薬局業務	254
10) 食料等の調達	256
11) 患者・職員(帰宅困難職員も)のための水確保と供給	259
12) 配膳業務	261
13) 大災害後における酸素確保	263
参考資料 液化酸素タンクまたは酸素配管の損傷への対策	265
14) 通院患者への薬剤、処方情報の提供	268
15) 透析業務の継続	269
16) 透析継続のための連絡業務について	271
資料. 災害時(電話不通時)医療機関への連絡用紙(案)	272
17) 手術業務の継続・再開	273
参考資料1 同2	274
18) 病棟患者状態維持と業務の継続	278
19) 撮影業務の継続	281
20) リハビリ科の事業継続(搬送班の業務を含む)	283
21) 検査業務の継続	284
22) 医療機器(医療機器室管理分)管理業務の継続	286
23) 人工呼吸治療の継続	287
24) 在宅酸素療法患者への対応	289
25) 医事業務の継続と再開(搬送班の業務を含む)	291
26) 大津波到来後の院内清潔環境の復旧	293
27) 災害時におけるトイレ管理業務	296
28) 大津波に備えた重要文書等の退避	299
29) 自家発電と燃料確保について	302
参考資料1、同2	303
30) 災害時病院宿泊環境の整備	305
3. 課題と今後の取組	307
(1) 現況の課題と改善に向けた取組	307
(2) 訓練・教育の取組	307
(3) BCPチェックリスト(厚生労働省)に基く要改善点	308
(4) 点検・是正の取組	311
(5) 見直しの取組	311
♣資料. 救急・災害対策委員会および部会の委員、リンクスタッフ	312
1. 救急・災害対策委員会	312
2. 災害対策部会	312
3. 災害救援検討部会	312
4. 被ばく医療準備部会	313
5. 各部署の災害医療リンクスタッフ	314